

第2学年 英語科学習指導案

令和5年2月21日(火)

第5校時 13時30分～14時20分

2年2組 30名

指導者 江藤靖世

Brittany Paull

1. 単元名 完了した動作や、自分が経験したことを伝えよう

(NEW CROWN English Series 2 Lesson7 *Rakugo Goes Overseas*)

2. 単元について

本単元は、日本の伝統文化である落語を題材として扱っている。英語落語の公演を海外で行っている落語家の話を通して、落語の特徴や観客との対話で知り得た日本の印象、異文化の人が内容をより理解しやすくするための工夫などを知ることができる。落語という伝統文化や外国の人から見た日本の印象など、普段は触れたり聞いたりすることがないため、生徒の興味を引きつける内容である。

文法事項としては現在完了形の完了用法と経験用法を学習する。前単元で学習した継続用法に加え、今の状況や経験したことがあることについて伝え合ったり書いたりすることができ、表現の幅を広げることができる単元である。

本学級では、普段からペア・グループ活動を取り入れており、生徒が積極的に学習活動に取り組む様子が見られる。今年度の2年生を対象にアンケートをとった結果、英語の授業が「分かった」「できた」と感じている生徒は、1学期末94%、3学期初めは90%であった。進んで発表し、分からないところは教え合う姿、質問し解決しようとする姿がある。また、ALTとの授業もとても楽しみにしており、授業後に自ら話しかけて会話を楽しんでいる生徒もいる。

今年度実施した英検I B Aの結果を見ると、スピーキングの平均スコアは現3年生の2年時と同じであるが、分布表を見ると341～380スコアの生徒の割合は約40%で大きな差は見られないものの、1つ下の291～340スコアを取った生徒の割合が昨年度(現3年生)は22%なのに対し今年度(2年生)は38%と大幅に増えており、手立てを打つ必要があると感じている。

これまで、話すことについては、質問をする、つなぎ言葉を使う、誘うなど教科書のTalkにおいて、ターゲットとなる表現を使って会話の幅が広がるよう指導をしてきた。また、なるべく即興で会話を続けられるように細かい指示は出さず、会話を継続する目標タイムを提示して取りませけてきた。

ただ、現状として教科書の会話内容と同じ言葉を繰り返すことに終始し、会話の幅を広げることができていないような状況も見られ、目的や場面、状況に応じて、生徒が自分の気持ちや考えを自ら考えて話す力を付ける必要がある。

指導にあたっては、上に述べた生徒の課題に対応するため、以下の2点をポイントに挙げる。

- ①本単元のゴールとして、ALTと1対1で会話する場面(スピーキングテスト)を設定する。その際、生徒には「(例)自分が続けていることや、経験したことについてBrittany先生と話してみよう」と提起し、本単元で学習する現在完了形を使う場面や状況を設定して取りませるとともに、既習事項を用いて質問したり、つなぎ言葉を使ったりして会話が続けられるよう指導したい。

- ② ①の活動に向け、新出文法を学習した際は身近なことを話したり書いたりする活動を、まとめの活動へ向けてのスマールステップとして設定する。質問に答えたり、分かった情報を集めたりするなど活動の目的を明確にして、生徒の意欲喚起につなげたい。また、周りとの会話からもヒントが得られるよう、ペア活動や班活動で繰り返し取り組ませていきたい。

3. 単元の目標

自分が続けていることや、経験したことについてブリタニー先生と会話をするために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理したり、簡単な語句や文を用いて相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

4. 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと〔やり取り〕

- イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと〔やり取り〕	<p>〈知識〉 現在完了形(完了・経験)の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>〈技能〉 完了した動作や経験したことについて現在完了形を用いて自分のことや身のまわりのことを話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分が続けていることや経験したことを伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、質問に答えたりして会話を続けている。</p>	<p>自分が続けていることや経験したことを伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、質問に答えたりして会話を続けようとしている。</p>

6. 指導と評価の計画

※○：指導に生かす評価、◎：記録に残す評価

時間	学習活動	知	思	主	評価規準【評価方法】
1	現在完了形の完了用法の肯定文、疑問文、否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、伝え合ったりする。	○			<p>〈知識・技能〉 現在完了形の完了用法の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを用いて自分のことを伝えようとしている。【記述分析】</p>
2	現在完了形の完了用法の肯定文、疑問文などを用いて話された英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。	◎			<p>〈知識・技能〉 現在完了形の完了用法を用いた対話文を聞き、内容を理解している。【行動観察】【記述分析】</p>
3 本時	現在完了形の経験用法の肯定文、疑問文、否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、伝え合ったりする。	○			<p>〈知識・技能〉 現在完了形の経験用法の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを用いて自分のことを伝えようとしている。【記述分析】</p>

4	現在完了形の経験用法の肯定文、疑問文などを用いて話された英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。	◎		〈知識・技能〉 現在完了形の経験用法の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを用いて自分のことを伝えようとしている。【記述分析】
5	現在完了形の経験用法の肯定文、疑問文などを用いて話されたインタビュー記事を読んで、概要を捉える。		○ ○	〈思考・判断・表現〉 《英語落語の講演後に関するインタビュー形式の対話文を読んで、概要を》捉えている。【行動観察】 《インタビューの応答について問いに》答えている。【記述分析】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 《同上》捉えようとしている。【行動観察】 《同上》答えようとしている。【記述分析】
6	大島希巳江さんの英語落語家としての活動や考えについて書かれた記事を読んで、要点を捉える。		○ ○	〈思考・判断・表現〉 《大島希巳江さんの英語落語家としての活動や考えについて書かれた記事を読んで、要点を》捉えている。【行動観察】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 《同上》捉えようとしている。【行動観察】
7	大島希巳江さんの英語落語家としての活動や考えについて書かれた記事を読んで、要約を完成する。		○ ○	〈思考・判断・表現〉 《大島希巳江さんの英語落語家としての活動や考えについて書かれた記事を読んで、要約を》まとめている。【記述分析】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 《同上》まとめようとしている。【記述分析】
後日	スピーキングテスト	◎	◎ ◎	

単元終末の言語活動において期待する生徒の姿 S:Hello. カードを選び、何について会話をするか topic を確認する。	例 ALT: Hello. Choose a card, please. カードを選び、何について会話をするか topic を確認する。	カードA Brittany 先生がこれまで行ったことがある場所について尋ねてみよう。自分が行ったことのある場所について話しよう。
Student: Have you ever been to Kyoto? Where did you visit there? Yes, I have. I've been there once. Last November. Well... I visited Kiyomizu temple. There were so many people. Have you ever been there? Please show me the picture.	ALT: Yes, I do. I visited a lot of temples there. How about you? Have you ever been to Kyoto? How many times have you ever been there? Oh, you went to the school trip, right? Where did you visit in Kyoto? Yes, I have. I took a lot of pictures there. The autumn leaves were beautiful.	

7. 本時案 (3/8)

(1) 題目

現在完了形 (経験用法) を用いて、情報カードから得た内容を英作文し、ブリタニー先生に伝えよう。

(2) 本時のねらい

教科書の登場人物が経験したことが書かれたカードの情報を、英文でブリタニー先生に伝える活動を通して、現在完了形 (経験用法) の特徴やきまりを理解するとともに、現在完了形 (経験用法) を用いて伝える技能を身に付けることができるようにする。

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
10	1. Warming-up &Review ・ 新出単語の発音と意味を確認する。 ・ 不規則動詞の変化を発音して確認する。	・ ペアで協力できているか ・ スムーズに発音できているか	
15	2. Target Introduction ・ 現在完了の経験用法について知る。	経験用法の特徴の確認 ・ have 過去分詞 回数 ・ 疑問文 ever 否定文 never など をpushさえる ・ ノートを活用し、まとめさせる	
<p>現在完了形 (経験用法) を用いて、情報カードから得た内容を英作文し、ブリタニー先生に伝えよう</p>			
20	3. Activity ・ カードの情報を英作文し、音読する ・ ALTからの質問に答える	・ 「have 過去分詞・回数」という文法的なきまりを守り、書くことができているか。 ・ 書いた英文を発音し伝えることができているか。 ・ ALTからの質問を聞き取り、答えることができているか。	〈知識・技能〉 現在完了形の経験用法の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを用いて自分のことを伝えようとしている。【記述分析】
5	4. Reflection	振り返りシートに自分のことを英作文させる。	